

NEXCO東日本の 土木工事の入札契約方式

2019年7月

あなたに、ベスト・ウェイ。



土木工事の入札契約方式 ～目次～



- 1. 入札契約方式の選定と概要 . . . 3
- 2. 総合評価落札方式の概要 . . . 2 3
- 3. 技術提案・交渉方式の概要 . . . 3 3
- 4. その他の入札方式の紹介 . . . 4 1

入札契約方式の選定と概要

あなたに、ベスト・ウェイ。



入札契約方式の選定と概要 ～目次～



はじめに

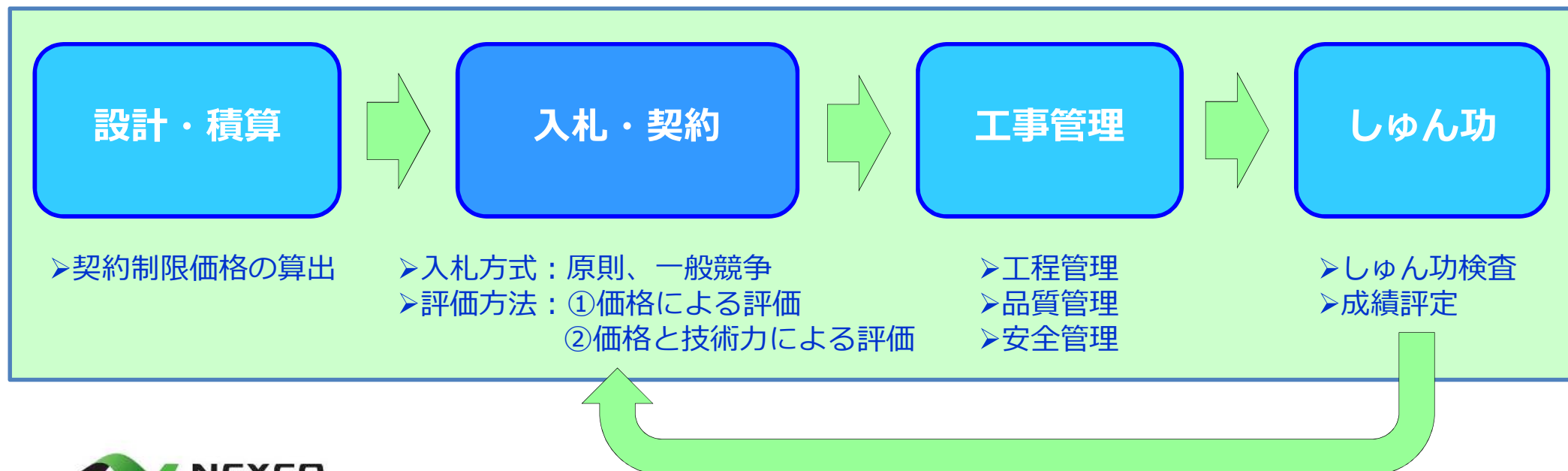
1. 入札契約方式の選択	・ ・ 6
2. 工事の参加要件	・ ・ 11
3. 入札不調等への対応	・ ・ 16
4. 低入札価格調査	・ ・ 17
5. 入札公告の掲載	・ ・ 20

はじめに

当社の入札・契約制度は、2005(平成17)年10月の会社設立以降、関係法令である「入契適正化法」や「品確法」等を基本に、透明性・公正性の確保の他、技術に裏付けされた「価格と品質が総合的に優れた調達」を実現するために、技術開発・技術管理を主体とする技術部門と調達部門による「調達の最適化」に取り組むべく、入札・契約制度（調達制度）を継続的に改善を実施しています。

※入契適正化法 = 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律
品確法 = 公共工事の品質確保の促進に関する法律

当社における調達サイクル



1. 入札契約方式の選択 ～構成要素～

NEXCO東日本における入札契約方式の構成要素

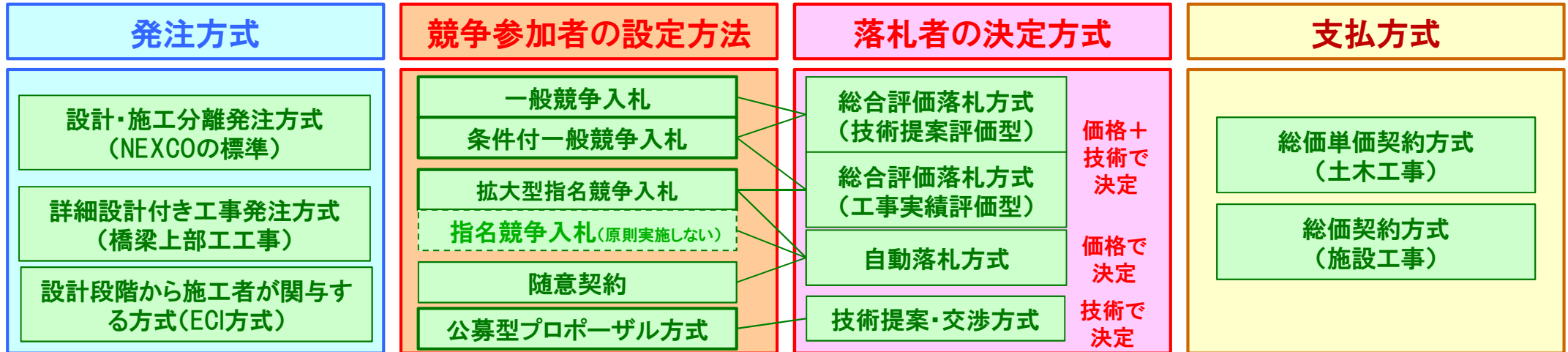
～工事に応じて、これらの4要素の組み合わせにより調達を実施～

(1)契約方式	(2)競争参加者の設定方法	(3)落札者の選定方法	(4)支払方式
<p>◆契約の対象とする業務及び施工の範囲の設定方法</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>設計・施工 分離発注方式</p> <p>詳細設計付 工事発注方式</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">設計・施工 一括発注方式</p> <p>設計段階から施工者 が関与する方式 (ECI方式)</p> </div>	<p>◆契約の相手方を選定する際の候補とする者の範囲の設定方法</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>一般競争入札</p> <p>条件付一般競争入札</p> <p>拡大型指名競争入札</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">指名競争入札</p> <p>随意契約</p> <p>公募型プロポーザル方式</p> </div>	<p>◆契約の相手方の候補とした者から、契約の相手方とする者を選定する方法</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>総合評価落札方式 価格 + 技術</p> <p>自動落札方式 価格</p> <p>技術提案・交渉方式 技術</p> </div>	<p>◆契約の対価を支払う方法</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>総価単価 契約方式 (土木工事)</p> <p>総価 契約方式 (施設工事)</p> </div>

1. 入札契約方式の選択 ～組合せ～



○入札契約方式は、**発注方式、競争参加者の設定方法、落札者の決定方式、支払方式の組み合わせ**



入札前価格交渉方式：入札参加者の見積りを契約制限価格に反映させる方式。すべての入札方式に組合せが可能

組合せ例	発注方式	競争参加者の設定方法	落札者の決定方式	支払方式
WTO工事	設計・施工分離発注方式	一般競争入札	総合評価落札方式 (技術提案評価型)	総価単価契約方式
一般的な工事	設計・施工分離発注方式	条件付一般競争入札	総合評価落札方式 (工事实績評価型)	総価単価契約方式
橋梁上部工	詳細設計付き工事発注方式	条件付一般競争入札	総合評価方式 (工事实績 or 技術提案)	総価単価契約方式
入札不調が発生している工種	設計・施工分離発注方式	拡大型指名競争入札	自動落札方式	総価単価契約方式
最適な仕様・条件を設定したい	設計段階から施工者が関与する方式	公募型プロポーザル方式	技術提案・交渉方式	総価単価契約方式

1. 入札契約方式の選択 ～契約方式による分類～

契約方式による分類（設計と工事の関係）

～設計・施工の分離発注を原則としつつ、難易度の高い工事などでは、設計段階から施工者が関与する方式を採用～

契約方式	競争参加者の選定方式		概略設計／ 基本設計	詳細設計	施工
設計・施工分離発注 (通常の発注)	設計者	プロポーザル方式			
	施工者	総合評価落札方式			施工
詳細設計付工事発注方式 (橋梁上部工、床版取替工事)	設計者	プロポーザル方式	基本設計		
	施工者	総合評価落札方式		詳細設計	施工
設計段階から施工者が 関与する方式 (設計・施工分離)	設計者	プロポーザル方式			
	施工者	技術提案・交渉方式 (技術協力・施工タイプ)		技術協力	施工
設計段階から施工者が 関与する方式 (設計・施工一体)	設計者	※設計者による基本設計等を 必要に応じて実施	基本設計		
	施工者	技術提案・交渉方式 (設計交渉・施工タイプ)		詳細設計	施工

1. 入札契約方式の選択 ～競争参加者の設定方法～



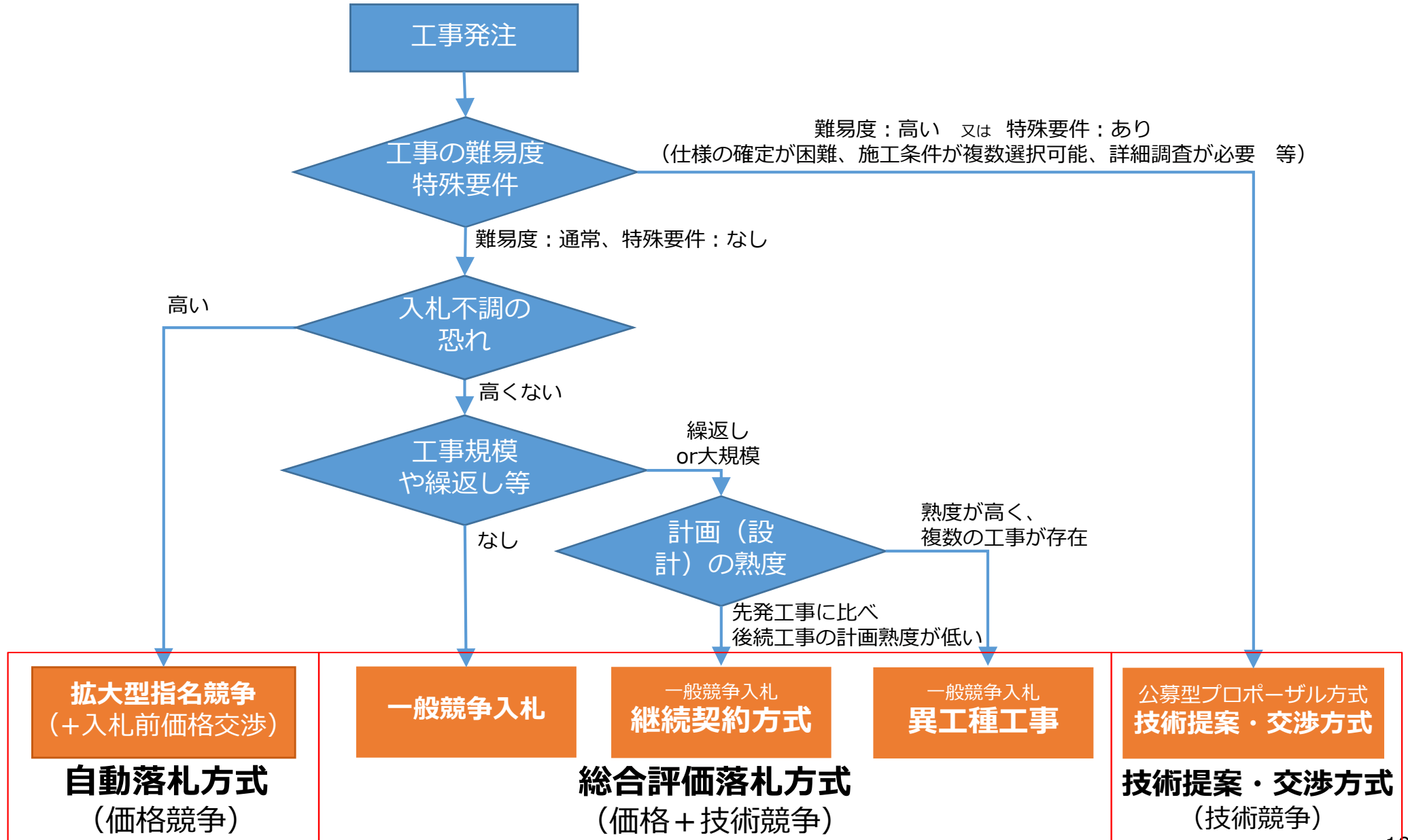
NEXCO東日本における競争参加者の設定方法の概念図（工事）

契約制限価格	競争契約《原則》			随意契約
WTO基準額 (H30・31年度) 22.9億円	<u>一般競争入札 (WTO適用)</u>			特定随意契約 (申込委託) 緊急随意契約 特命随意契約
250万円	<u>条件付 一般競争入札</u>	<u>拡大型 指名競争入札</u> (入札不調対策) 発注時に、設定した競争参加資格要件（指名基準）を満たす者を全者指名するとともに、指名業者以外も競争参加可能なように公募する方式	<u>(指名競争入札)</u>	
0円		<u>簡易型競争入札</u>		

1. 入札契約方式の選択 ~落札者の決定方法~



工事の難易度や事業の喫緊性などに応じた契約方式を選択



2. 工事の参加要件 ～競争参加資格～



NEXCO東日本の発注工事の競争に参加するには、「競争参加資格審査」の「認定」が必要です。

■ 「平成31・32年度競争参加資格審査」の申請方法（随時受付）

ホームページ ⇒ <https://www.e-nexco.co.jp/bids/info/quarification/31322.html>

毎月15日までに受領した申請を翌月第1営業日認定（予定）とし、平成32年12月15日（火）まで受付（予定）

※申請をご希望の方は、ホームページ『平成31・32年度競争参加資格審査（随時受付）のご案内と申請様式』をご確認の上、書留郵便等の追跡可能な郵送手段にて申請願います。

2. 工事の参加要件

～工事種別と募集等級①～



工事種別	主な工事内容	発注規模 (契約制限価格(税込み))	募集等級※1	建設工事の種類 (建設業法の工種)
土木工事	道路の土木構造物のうち土構造物(のり面保護を含む。)、トンネル、コンクリート構造物(橋梁上部工は除く。)の新設、改築、改良(耐震補強対策を含む。)、災害復旧、特定更新(トンネルインバート設置・覆工補強、のり面のグラウンドアンカー工・脆弱岩対策、排水機能強化など)に係る工事	50億円以上	Ns、 Ns又はNの2者JV・3者JV	土木一式工事、 とび・土工・コンクリート工事
		22.9億円以上 50億円未満	Ns又はN、 Ns又はNの2者JV	
		16億円以上 22.9億円未満	A、AA、 AB ※2	
		13億円以上 16億円未満	A、AA、 AB、AC ※2	
		5億円以上 13億円未満	B、BB、 BC ※2	
		5億円未満	C	
P C橋上部工工事	道路の新設に係るP C橋上部工工事	50億円以上	Ns、 Ns又はNの2者JV・3者JV	土木一式工事
		22.9億円以上 50億円未満	Ns又はN、 Ns又はNの2者JV	
		3億円以上 22.9億円未満	A	
		3億円未満	A、B	
鋼橋上部工工事	道路の新設に係る鋼橋上部工工事	50億円以上	Ns、 Ns又はNの2者JV・3者JV	鋼構造物工事
		22.9億円以上 50億円未満	Ns又はN、 Ns又はNの2者JV	
		5億円以上 22.9億円未満	A	
		5億円未満	A、B	

※1：競争参加資格の区分等又は共同企業体の構成員組合せ

※2：JV構成員がB等級の場合の出資額は、請負代金額のうち13億円未満とし、JV構成員がC等級の場合の出資額は、請負代金額のうち5億円未満とする。

2. 工事の参加要件

～工事種別と募集等級②～



工事種別	主な工事内容	発注規模 (契約制限価格(税込み))	募集等級※	建設工事の種類 (建設業法の工種)
土木補修工事	道路の土木構造物のうち土構造物(のり面保護を含む)、トンネル、橋脚及びカルバートボックスなどコンクリート構造物(橋梁上部工は除く。)の維持修繕に係る工事(他の工事種別に属する工事は除く。)	50億円以上	Ns、 Ns又はNの2者JV・3者JV	土木一式工事、 とび・土工・コンクリート工事
舗装工事	道路の舗装(床版防水工を含む)の新設、改築、改良、災害復旧、特定更新、維持修繕に係る工事	22.9億円以上 50億円未満	Ns又はN、 Ns又はNの2者JV	舗装工事
橋梁補修工事	道路橋(PC橋または鋼橋)の上部工、鋼製橋脚、橋梁附属物工の改築、改良、災害復旧、特定更新(床版の取替・全面打替、桁の補強、表面被覆など)、維持修繕に係る工事			土木一式工事、鋼構造物工事
塗装工事	鋼橋等の塗装工事(維持修繕に係る塗替塗装工事を含む。)	22.9億円未満	等級なし (単体の競争参加資格)	塗装工事
道路附属物工事	道路の交通安全施設(防護柵、立入防止柵、落下物防止柵など)、遮音壁、防雪柵、道路標識、トンネル内装板などの新設、改築、改良、維持修繕に係る工事			土木一式工事、 とび・土工・コンクリート工事、 鋼構造物工事

※1：競争参加資格の区分等又は共同企業体の構成員組合せ

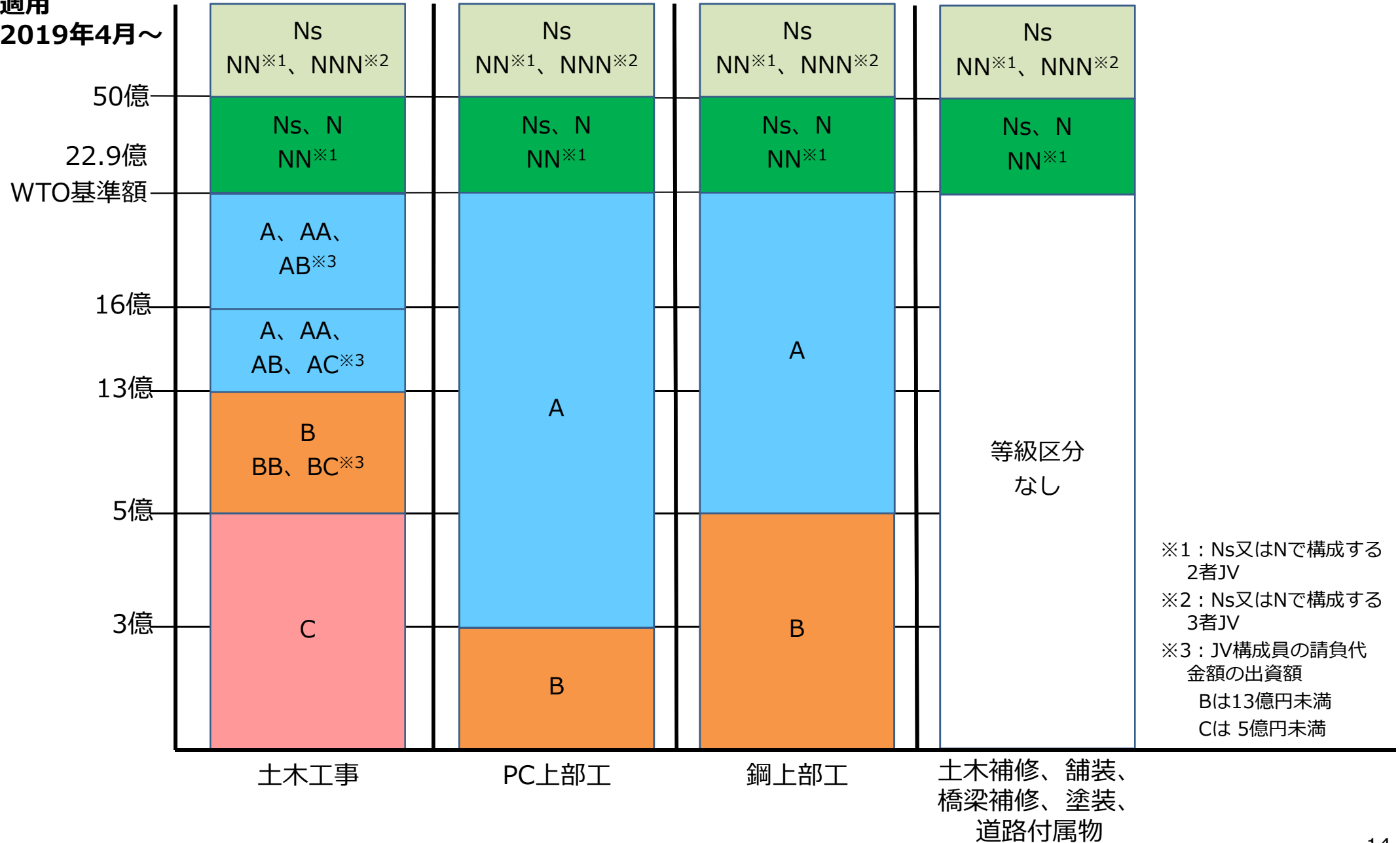
2. 工事の参加要件

～工事種別と募集等級③～



適用

2019年4月～



- ※1：Ns又はNで構成する
2者JV
- ※2：Ns又はNで構成する
3者JV
- ※3：JV構成員の請負代
金額の出資額
Bは13億円未満
Cは5億円未満

2. 工事の参加要件

～施工実績等の例～



(条件付) 一般競争入札の工事においては、施工実績（企業・配置技術者※）を設定（同種工事の施工実績。過去15年間を標準）

※契約締結後の配置要件

工事種別	主たる工事内容	求める実績（企業）	例
土木工事	切盛土工	土工量（「施工掘削量又は切土量」又は「施工盛土量又は埋戻し量」の大きい方）が●万m ³ 以上ある道路土工工事	
	耐震補強工事	道路橋下部工の耐震補強を実施した工事	
舗装工事	舗装補修工事	舗装の施工面積が●万m ² 以上ある高速道路又は高速道路以外の自動車専用道路の排水性舗装(高機能舗装を含む)工事	
P C 上部工工事	上部工工事	〇〇工法により最大支間長●●m以上あるPC（PRC）××橋を架設した道路橋の工事	
鋼上部工工事	上部工工事	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼鈹桁橋又は鋼箱桁橋の工場製作 ・〇〇工法により最大支間長●●m以上ある鋼△桁を架設した道路橋の工事 	
橋梁補修工事	床版取替工事	道路橋においてコンクリート床版の新設若しくは取替を行った工事（コンクリート床版は、場所打ち床版、プレキャスト床版を問わない）	
	はく落対策工事	コンクリート構造物のコンクリートのはく落対策を実施した工事	

3. 入札不調等への対応

入札不調等への対応として、下記取組みなどを実施

◆競争参加資格要件の緩和（技術者の配置要件緩和）

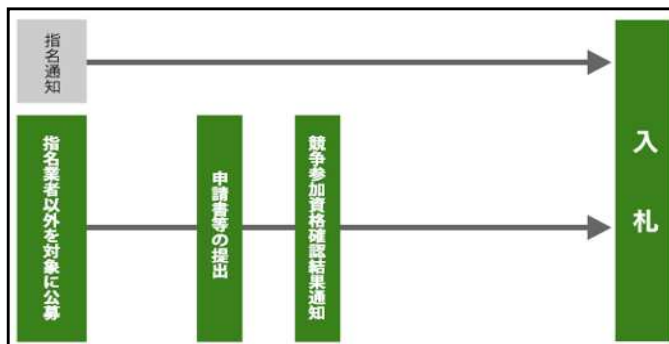
配置予定技術者の資格及び工事の経験を、事前に提出する競争参加要件とせず、契約締結後の配置要件としています

◆入札契約方式の工夫（下図参照）

拡大型指名競争入札

発注時に、設定した競争参加資格要件（**指名基準**）を満たす者を**全者指名**するとともに、指名業者以外も競争参加可能なように公募する方式

手続の流れ

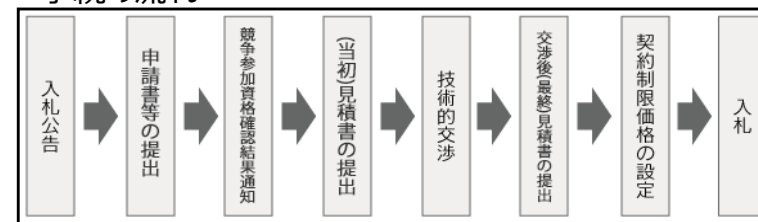


入札前価格交渉方式

入札参加者の**見積書を反映した契約制限価格の設定**を行う方式

- ・資材等の急激な高騰など価格変動が著しい工事
- ・特殊な施工条件下の工事
- ・機器製作が主体となる工事
- ・入札不調となる恐れの高い工事（実勢価格との乖離に対応）

手続の流れ



4. 低入札価格調査



■ 低入札価格調査制度の概要

2019年7月改訂

【概要】

落札予定者の入札価格が調査基準価格（適正な履行がなされない恐れがあると認められる価格）を下回る額である場合に、その入札価格の妥当性について調査を行うものです。

■ 低入札調査基準価格の設定

当社が発注する工事では、次に示すとおり低入札調査基準価格を設定しています。

低入札調査基準価格

調査基準価格は、次の①から④に示す額の合計額とする

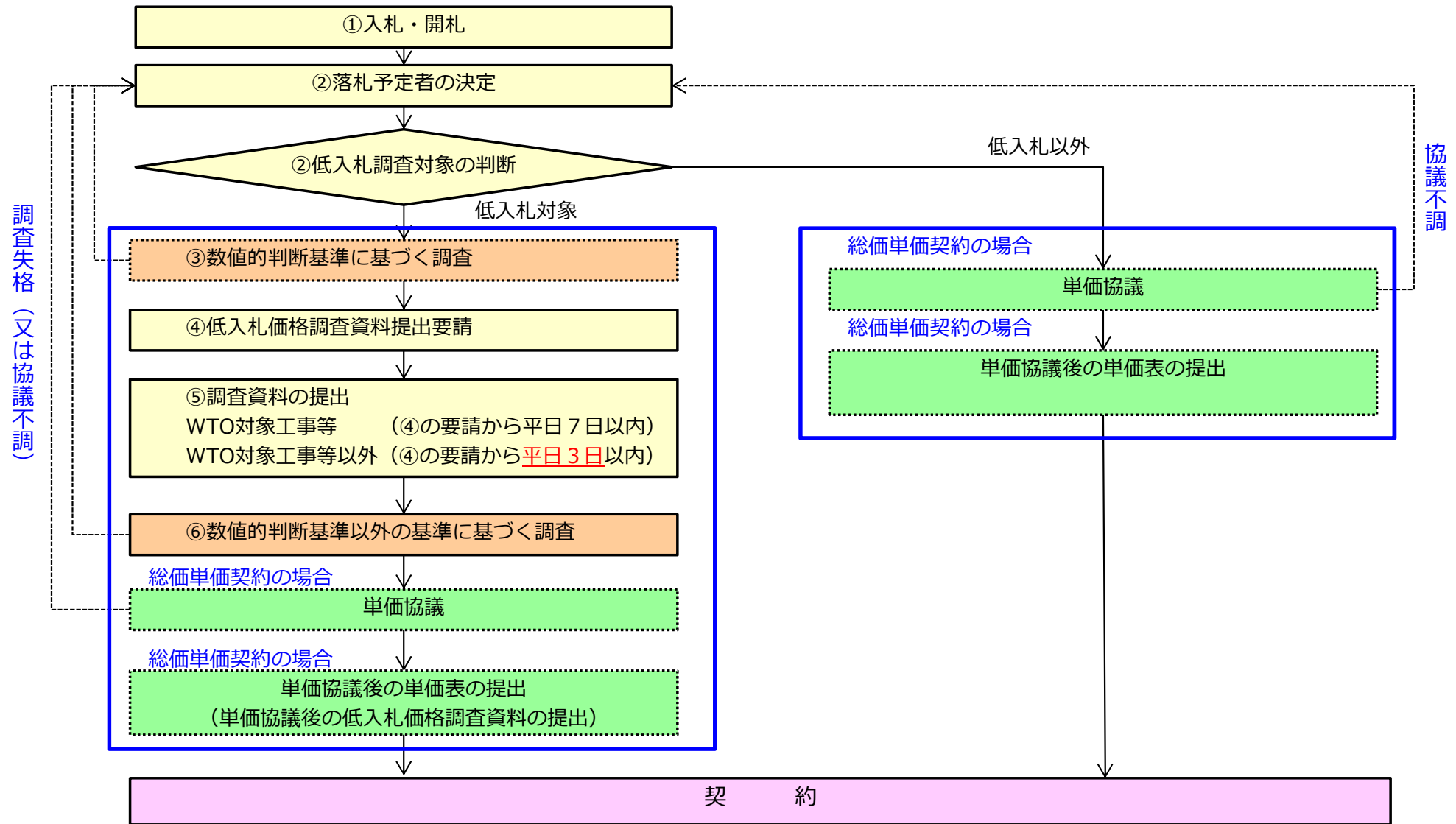
- ①直接工事費 ×97%
- ②共通仮設費 ×90%
- ③現場管理費 ×90%
- ④一般管理費等×55%

合計額が工事価格対象額に 10分の9 を乗じて得た額を超える場合 ⇒ 10分の9.2を乗じて得た額
合計額が工事価格対象額に 10分の7.5を乗じて得た額に満たない場合 ⇒ 10分の7.5を乗じて得た額

※落札予定者の入札価格が、工事価格対象額に 10分の7.5を乗じて得た額に満たない場合は、重点調査の対象となる。

4. 低入札価格調査

■ 低入札価格調査の流れ



5. 入札公告の掲載 発注見通し公表の充実



発注見通しについて、各年度4回（4月、7月、10月、1月）
公表を実施

公表内容として、発注支社・事務所名、入札方式、工種、工事名、工事箇所、工期、工事概要、入札公告等予定時期、入札予定時期を記載

The screenshot shows the NEXCO website's bid forecast page. The main content area is titled "平成31年度発注見通しについて" (Regarding the Bid Forecast for Heisei 31). It includes a date of April 1, 2019, and the company name, NEXCO East Japan. The text explains that the company is publishing bid forecasts for Heisei 31 based on the Public Works Bid and Contract Standardization Law. It specifies that the current publication covers contracts with a maximum contract price exceeding 250 million yen and surveys exceeding 5,000 million yen. A list of "公表対象工事等" (Publicly Disclosed Works) includes: "契約方式別工種（業種）別件数" (55KB), "契約制限価格が250万円を超える工事" (190KB), and "契約制限価格が5,000万円以上の調査等（「施工管理業務」は全ての競争契約案件）" (95KB). Navigation callouts are present: ① "ここを選択" (Select here) points to the "発注の見通し" (Bid Forecast) link in the left sidebar; ② "ここをクリック" (Click here) points to the "平成31年度発注見通しについて" link under the "平成31年度" section; ③ "ここをクリック" (Click here) points to the "平成31年度特定調達予定案件一覧" link under the "平成31年度" section.

5. 入札公告の掲載

当社の入札公告や契約情報は、**当社HP（調達・お取引）から、随時検索、閲覧**できます。【公告日毎の表示】

<https://www.e-nexco.co.jp/>

↓下にスクロール

「調達情報」タブを選択

「入札公告を掲載しました」をクリックするとその日付の新着情報を表示

事業所名	件名	公告日	契約種類	契約方法	工種（等級）、業種	現在状況	応募状況
東北支社 北上（管）	東北自動車道 平泉スマートインターチェンジ舗装詳細設計	H30.08.03	調査等	条件付一般競争	道路設計	受付中	受付締切 平成30年08月21日
東北支社	常盤自動車道 楡川橋耐震補強設計	H30.08.03	調査等	簡易公募型プロポーザル	橋梁設計	受付中	受付締切 平成30年08月20日

5. 入札公告の掲載

当社の入札公告や契約情報は、**当社HP（調達・お取引）から、随時検索、閲覧**できます。【件名や契約方法、地域での検索】

<https://www.e-nexco.co.jp/>

①ここを選択

②ここをクリック

③検索ウィンドウで検索

※契約方法や地域をしての検索が可能

総合評価落札方式の内容

あなたに、ベスト・ウェイ。



総合評価落札方式の内容 ~目次~



1. 総合評価落札方式の概要	・ ・ 2 5
2. 評価値等	・ ・ 2 6
3. 技術評価タイプと配点	・ ・ 2 7
4. 評価項目及び配点	・ ・ 2 8
5. 評価項目の内容	・ ・ 2 9
6. 施工体制確認型（併用）	・ ・ 3 2

1. 概要

契約制限価格の範囲内で入札された価格に基づく「価格評価点」と技術提案書等に基づく「技術評価点」を総合的に評価することにより、落札者として決定する方式

総合評価落札方式のタイプ

技術提案評価型

(技術的工夫の余地が大きい工事)

or

工事実績評価型

(技術的工夫の余地が小さい工事)



【施工体制確認型】併用

(低入札価格調査の対象となることが多い工事等)

2. 評価値等

■ 価格評価の方法

$$\text{価格評価点} = \text{式①} \times 0.5 + \text{式②} \times 0.5$$

$$\text{式①} = \text{価格評価点の配点} \times \left(1 - \left(\frac{\text{入札価格} - \text{調査基準価格}}{\text{契約制限価格} - \text{調査基準価格}}\right)^2\right) + \text{定数}$$

なお、入札価格が調査基準価格を下回る価格である場合は、「価格評価点の配点 + 定数」を付与する。

$$\text{式②} = \text{価格評価点の配点} \times \left(1 - \left(\frac{\text{入札価格} - \text{重点調査価格}}{\text{契約制限価格} - \text{重点調査価格}}\right)^2\right) + \text{定数}$$

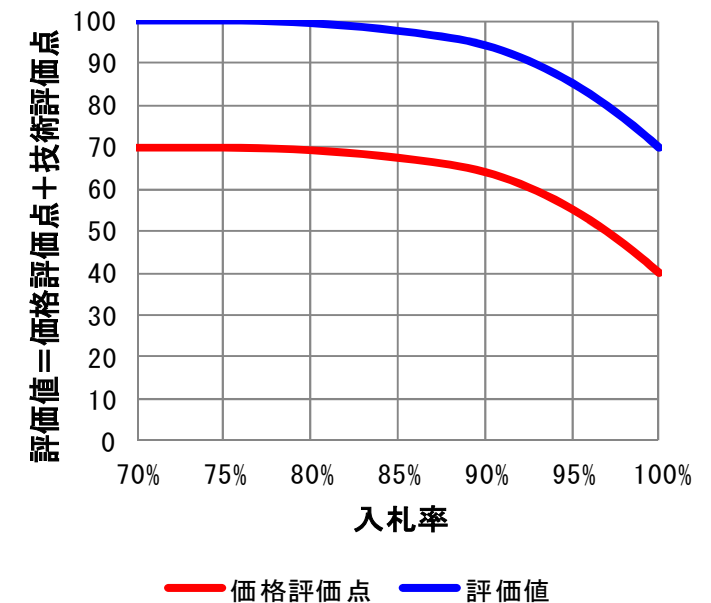
なお、入札価格が重点調査価格を下回る価格である場合は、「価格評価点の配点 + 定数」を付与する。

■ 工事の技術評価と価格評価の配点（標準）

合計100点	技術評価点		価格評価点	定数
	技術評価点	施工体制評価点		
技術提案評価型 (施工体制確認型)	30点 (20点)	- (10点)	30点	40点
工事实績評価型 (施工体制確認型)	20点 (20点)	- 10点	20点 (30点)	60点 (40点)

■ 評価値の概念図

技術提案評価型（技術30点・価格30点の例）



3. 技術評価タイプと配点



- 技術提案評価型**
 - 技術的工夫の余地がある工事において、民間企業の優れた技術力を活用することによる当該工事のコスト縮減、ライフサイクルコストを含む総合的なコスト縮減、工事目的物の性能・機能、工事中における安全対策・交通の確保・環境の維持、工期の短縮等を目的として、当社があらかじめ指定する範囲についての施工方法等（標準案）に対し競争参加者に技術提案の提出を求め、その内容に基づき技術評価を行う方法

	0	40	70	100
技術提案評価型 ※発注レンジにより 提案Ⅰ型・提案Ⅱ型	価格評価点			技術評価点
	定数（評価値を100とするための定数） 40点		評価点 30点	30点

- 工事实績評価型**
 - 技術的工夫の余地が小さい工事において、施工の確実性及び優良企業へのインセンティブ付与に期するために、同種工事の実績や同種工事の成績や表彰実績等に関する技術資料の提出を求め、その内容に基づき技術評価を行う方法

実績Ⅰ型・・・施工計画を求めて企業の能力を評価する工事
 実績Ⅱ型・・・施工計画上の課題が少ない工事

	0	60	80	90	100
工事实績評価型（実績Ⅰ型）	価格評価点			技術評価点	
	定数（評価値を100とするための補正定数） 60点		評価点 20点	20点	
工事实績評価型（実績Ⅱ型）	価格評価点				技術評価点
	定数（評価値を100とするための補正定数） 80点				評価点 10点

- 施工体制確認型（併用）**
 - 低入札価格調査の対象となることが多い工事種別又は工事内容で、特に適切な施工体制を確保する必要がある工事について、開札結果に応じて入札者に対し施工体制等を確認するための資料の提出を求め、ヒアリングを行った結果を評価し、技術提案評価型、工事实績評価型で得られた技術評価と合算により評価を行う方法。

	0	40	60	70	80	100
施工体制確認型併用 （技術提案型、実績Ⅰ型）	価格評価点			技術評価点		
	定数（評価値を100とするための定数） 40点		評価点 30点	30点		
施工体制確認型併用 （実績Ⅱ型）	価格評価点				技術評価点	
	定数（評価値を100とするための定数） 60点				評価点 20点	20点
				①(10点)	②(10点)	
				①(10点)	②(10点)	

※施工体制確認型の場合の技術評価点は、①技術資料に基づき行う評価による「技術評価点」と②入札価格に応じて施工体制資料に基づき行う評価による「施工体制評価点」の合計点を当該工事の「技術評価点」とする。

4. 評価項目及び配点

■ 技術評価タイプに応じた評価項目及び配点の標準例

評価項目		条件付一般競争		一般競争		
		工事实績評価型		技術提案評価型		
		実績Ⅱ	実績Ⅰ	提案Ⅱ	提案Ⅰ	
技術提案				20 (10) ※22 (12)	30 (20)	
施工計画立案能力	簡易な施工計画		8 ※ 10			
施工の 確実性	企業	同種工事实績の成績評定	4	4	4 (4)	
		同一工種の表彰実績	2	2	2 (2)	
		品質・環境・安全マネジメントシステムの取得状況	2	2		
	技術者	同種工事实績の成績評定		2 ※ —	2 (2) ※ —	
施工の円滑性	災害復旧	2	2	2 (2)		
小計		10	20	30 (20)	30 (20)	
施工体制	品質確保の実効性	(5)	(5)	(5)	(5)	
	施工体制確保	(5)	(5)	(5)	(5)	
小計		(10)	(10)	(10)	(10)	
合計	()は施工体制確認型を併用する場合	10 (20)	20 (30)	30 (30)	30 (30)	
ウェイト 価格：技術		1:1(1:1)	1:1(1:1)	1:1(1:1)	1:1(1:1)	

※ : 配置予定技術者を契約履行要件とした場合

5. 評価項目の内容

■ 技術提案評価型

■ 技術提案

当該工事の設計図書等において示す標準案に対し、下表により技術提案を求める評価項目（項目・小項目）を設定すること。提出された技術提案に基づいて採否及び評価点の付与を行う。

設定する評価項目数	配点
技術提案を求める評価項目数は2項目又は1項目とする	評価項目を2項目設定する場合は、各評価項目の配点の合計値が、技術評価の区分により示される技術提案の配点となるよう設定する

設定する 評価項目の 内容	項目	小項目	
	総合的なコスト	①ライフサイクルコスト	②当該工事のコスト縮減
	性能・機能等	③性能・機能（〇〇）	
	社会要請	④環境の維持	⑤交通の確保
		⑥特別な安全対策	⑦省資源・リサイクル
自由設定項目	⑧自由設定項目		

■ 施工計画立案能力

簡易な施工計画の記載を求め、適切で確実な施工を行う能力を確認することを目的としており、設計図書に示す仕様を満たす施工を確保するために、課題に対する着目点と施工方法を記載するもので、必要以上の資機材の追加や、必要な能力以上の施工機械への変更など、仕様を超える施工計画を求めるものではない。

設定するテーマ数	配点
施工計画を求めるテーマ数は2テーマ又は1テーマとする	施工計画を求めるテーマを2テーマ設定する場合は、各テーマの配点の合計値が、技術評価の区分により示される簡易な施工計画の配点となるよう設定する

5. 評価項目の内容

■ 工事実績評価型

■ 同種工事の工事成績

評価基準		評価点	
$\text{評価点} = \frac{\text{配点 (4点)}}{20} \times (\text{同種工事実績の工事成績評定点} - 70) \times \text{係数 } a$ <p>・評価点の算定値は小数第4位以下を切り捨てとする。</p>		0~4点	
係数 a 同種工事の発注機関及び受渡し時期			
	同種工事実績の受渡し が過去5年以降(※1)で ある場合		同種工事実績の受渡し が過去6年以前(※2)でかつ過 去10年(※3)以降の場合
① 同種工事実績がNEXCO東日本、NEXCO中日本、又はNEXCO西日本の発注工事	1.0		0.5
② 同種工事実績が上記①以外の公的機関の発注工事	0.5	0.25	
③ 上記①②に該当しない	0.0		

摘要	※1 過去5年以降とは当該工事の入札公告日が属する年度の前年度から起算して過去5年前の4月1日以降のことをいう ※2 過去6年以前とは同上の3月31日以前のことをいう ※3 過去10年以降とは当該工事の入札公告日が属する年度の前年度から起算して過去10年前の4月1日以降のことをいう 入札公告へは「令和〇年4月1日」と基準となる日を和暦の年月日で記載する
----	--

■ 同一工事種別等における表彰実績等

表彰対象	評価基準 / 評価点		
	表彰時期	表彰日が過去5年以降(※1)である場合	表彰日が過去6年以前(※2)でかつ過去10年(※3)以降の場合
① NEXCO東日本の社長表彰(工事種別を問わない)、支社長による優秀工事等の表彰実績		2点	1点
② NEXCO東日本の事務所長による優秀工事等の表彰又は支社長による功労表彰(工事種別を問わない)の実績		1点	0.5点
③ 上記に該当しない		0点	

5. 評価項目の内容

■ 工事实績評価型

■ 品質、環境、労働安全衛生マネジメントシステムの取得状況

評価基準 / 評価点		
品質管理マネジメントシステム (ISO9001)、環境マネジメントシステム (ISO14001) 又は労働安全衛生マネジメントシステム (COHSMS もしくは OHSAS18001) の取得状況	① 左記のマネジメントシステムを2つ以上取得している。	2点
	② 左記のマネジメントシステムを1つ取得している。	1点
	③ 左記のマネジメントシステムを取得していない。	0点

■ 災害時の協力実績 (緊急災害復旧工事の施工実績)

評価基準 / 評価点	
① NEXCO東日本への過去5年以降(※1)の災害協力実績である場合	2点
② NEXCO東日本への過去6年以前(※2)でかつ過去10年(※3)以降の災害協力実績である場合 等 (※4)	1点
① 災害協力実績がない。又は過去11年以前の災害協力実績	0点

摘要	※1 過去5年以降とは当該工事の入札公告日が属する年度の前年度から起算して過去5年前の4月1日以降のことをいう
	※2 過去6年以前とは同上の3月31日以前のことをいう
	※3 過去10年以降とは当該工事の入札公告日が属する年度の前年度から起算して過去10年前の4月1日以降のことをいう 入札公告へは「令和〇年4月1日」と基準となる日を和暦の年月日で記載する

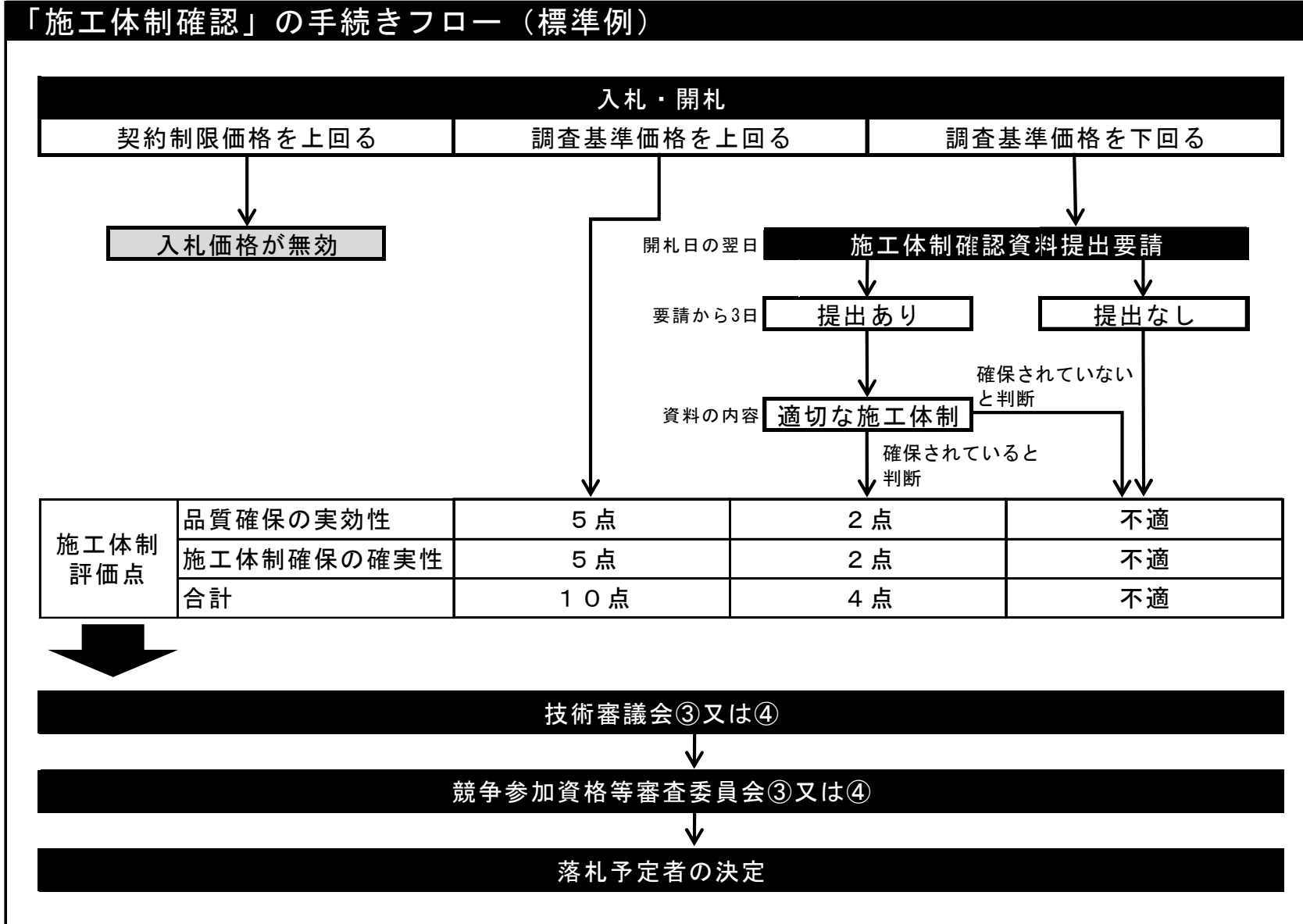
※4 災害応急復旧業務に関する協定締結者を評価する場合がある

(入札公告(説明書)で確認願います)

6. 施工体制確認型（併用）

2019年7月改訂

■ 施工体制確認型の運用 入札・開札後の手続きフロー



技術提案・交渉方式の概要

あなたに、ベスト・ウェイ。



技術提案・交渉方式の概要 ～目次～



- 1. 取組事例の紹介（設計交渉・施工タイプ） . . . 3 5
- 2. 取組事例の紹介（技術協力・施工タイプ） . . . 3 6
- 3. 技術協力・施工タイプの詳細 . . . 3 7
- 4. 技術提案・交渉方式の今後の適用 . . . 4 0

1. 取組事例の紹介（設計交渉・施工タイプ）



⇒最適な仕様を設定できない場合や仕様の前提となる条件の確定が困難な場合等に、発注者の要求を最も的確に満たす技術提案を公募し、最適な技術提案を採用し、提案を踏まえて仕様・価格を決定する方式

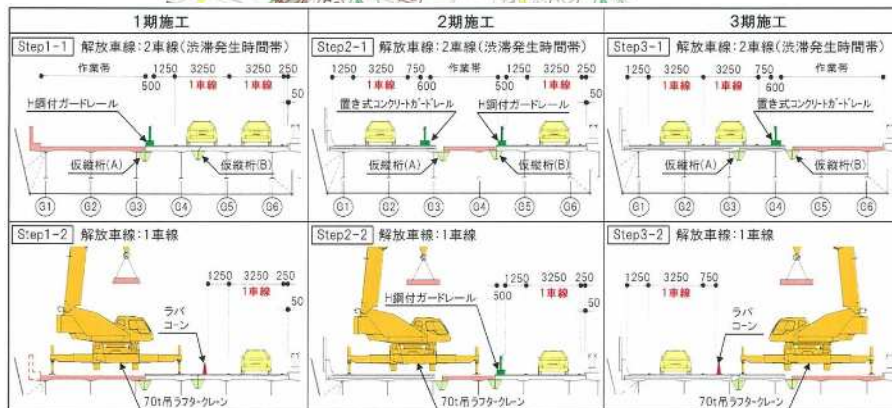
		調査・計画	概略設計	基本設計	詳細設計	施工
技術提案・交渉方式 (設計交渉・施工タイプ)	調査・計画 ／設計者					
	施工者				設計	施工

北陸道 高瀬川橋床版取替工事



施工業者をプロポーザル方式で選定

- ①床版取替工事の各施工ステップにおける設計方針、実施体制
- ②床版取替工事に伴う交通規制日数の短縮のための工夫

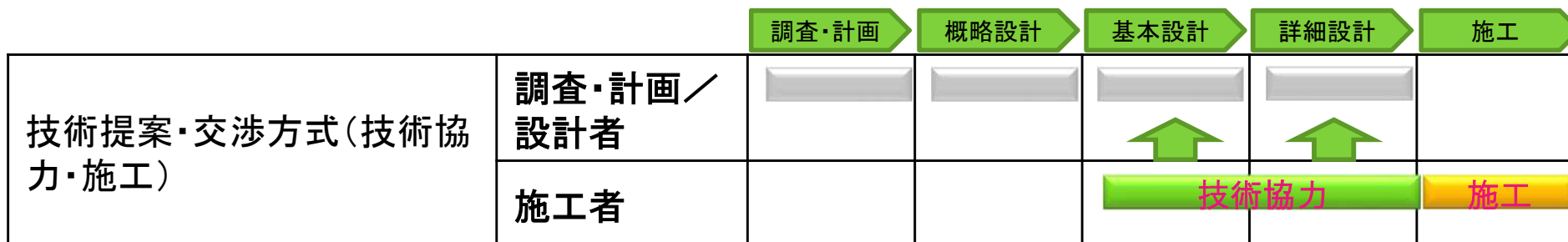


施工予定者が設計段階で参画することで、渋滞を回避する施工計画が設計に反映でき確実な工事施工が可能

(JCTランプを活用し、半断面施工することで対面通行を削減し渋滞を回避)

2. 取組事例の紹介（技術協力・施工タイプ）

⇒最適な仕様を設定できない場合や仕様の前提となる条件の確定が困難な場合等に、設計業務と並行して施工予定者が技術協力（施工計画等）を行い、設計業務にその検討結果を反映させる方式



※ECI・・・Early Contractor Involvement

新潟支社阿能川橋で採用（国土交通省で多く採用実績あり）

国道157号犀川大橋 橋梁補修工事（1.4億）



施工業者をプロポーザル方式で選定

- ①一定規模の工事の施工実績（橋梁修繕工事・交通規制）
- ②技術協力業務の理解度、損傷状況への所見と調査の提案、伸縮装置の補修工法の提案能力に対する留意点で評価

施工予定者が設計段階で参画することで、実現性の高い施工計画が設計に反映でき確実な工事施工が可能

3. 技術協力・施工タイプの詳細

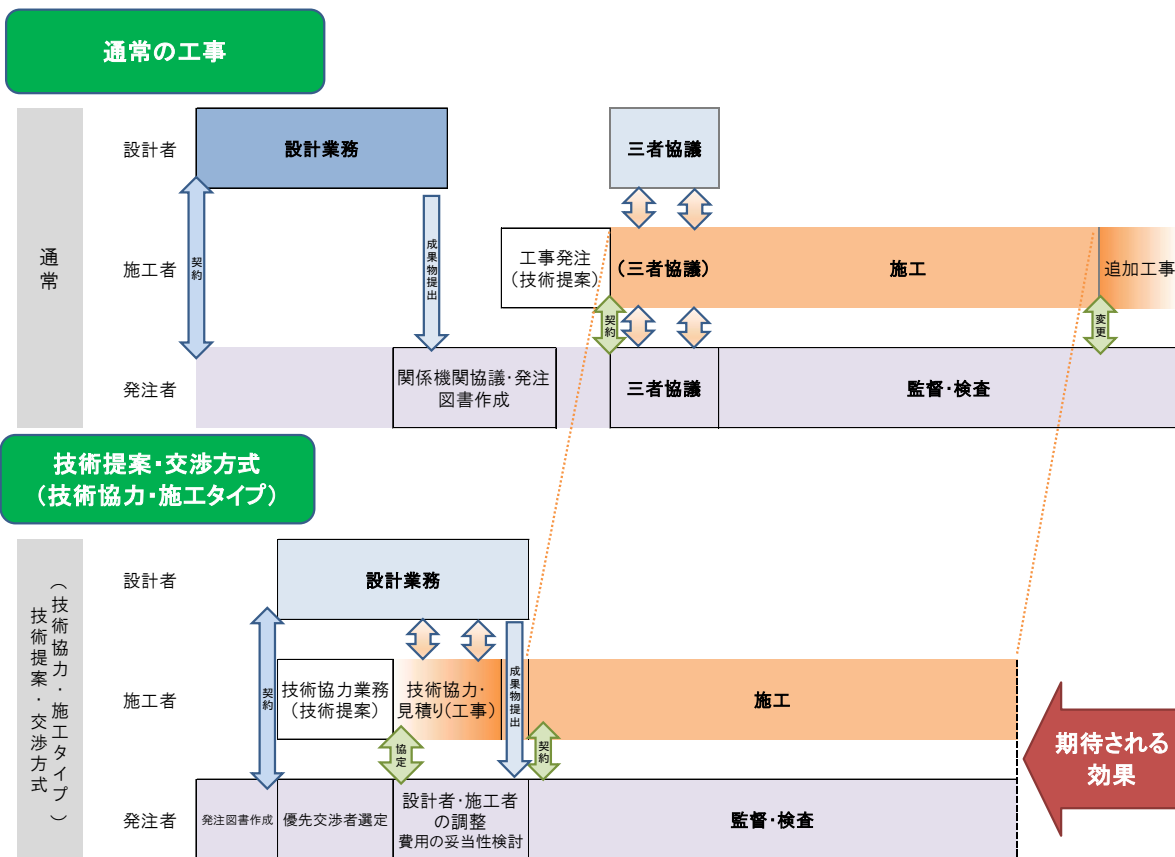
- ◆ 技術提案・交渉方式は、仕様の確定が困難な工事に対し、技術提案の審査及び価格等の交渉により仕様を確定し、契約制限価格を定めることを可能とする落札者選定方式【改正品確法（H26.6施行）に規定され、国土交通省でガイドライン制定】
- ◆ 技術協力・施工タイプの場合、施工者が調査・設計に対する技術協力を行い、建設コンサルタントの行う詳細設計へ施工者の知見の反映や、不確定要素への対処が可能



◆ 当社の工事に導入することで、下記を期待

- ✓ 施工者のノウハウや優れた技術を反映した、確実かつ合理的な設計
- ✓ 設計完了から工事着手までの期間短縮や、工事実施時の工事内容の変更の削減
(工事実施時の工事変更手続きや協議を低減でき、効率化に寄与)

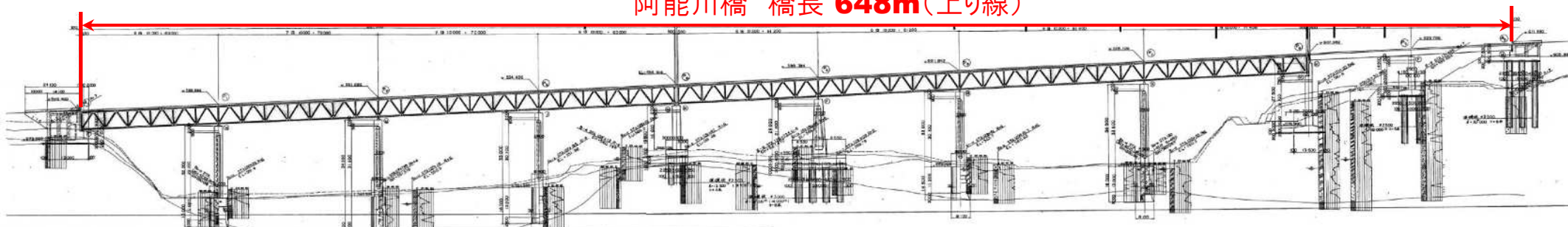
導入効果のイメージ（工事着手・完了時期の比較）



(参考) 技術協力・施工タイプ 採用事例

◆ 事例の少ない鋼トラス桁の床版取替であり、床版取替時の応力分布や挙動の把握を反映した施工方法等に専門的なノウハウ・工法等の活用を図る

阿能川橋 橋長 648m(上り線)

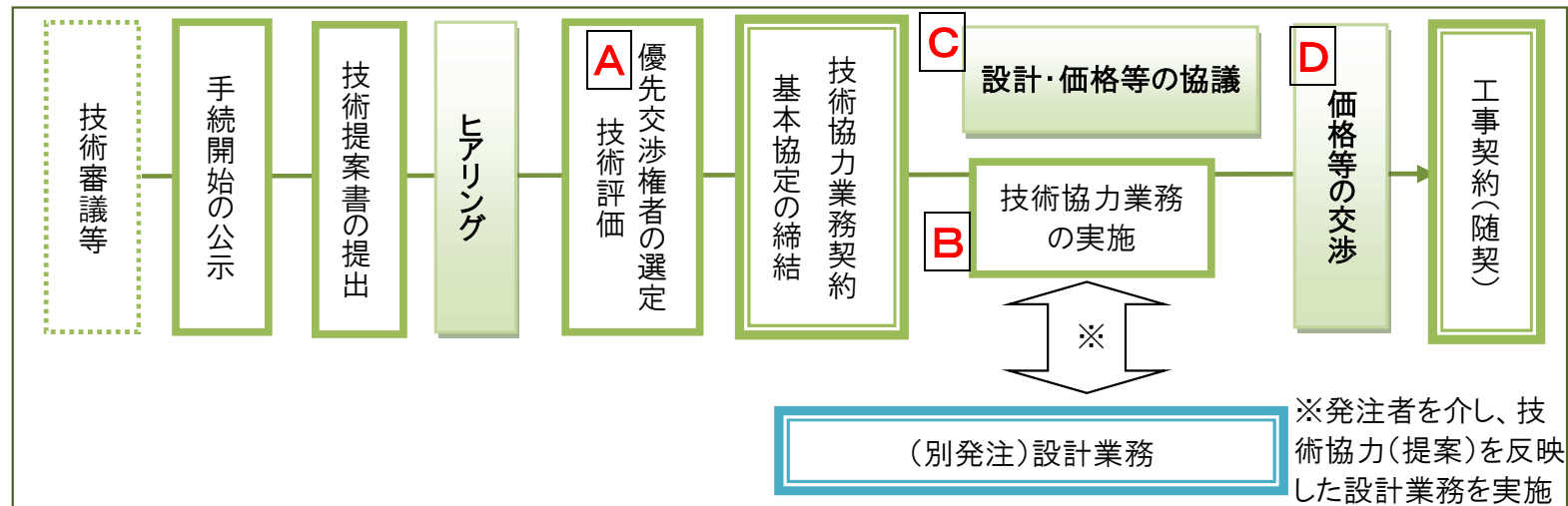


工事名	関越自動車道 阿能川橋床版取替工事
工事箇所	関越自動車道 水上IC～湯沢IC間
入札公告日	平成30年12月11日
工事の概要	床版取替 約 7.0千m ² 橋脚補強 約 25基
技術協力の概要	阿能川橋における施工計画検討



(参考) 手続きの流れ

※技術協力・施工タイプの例



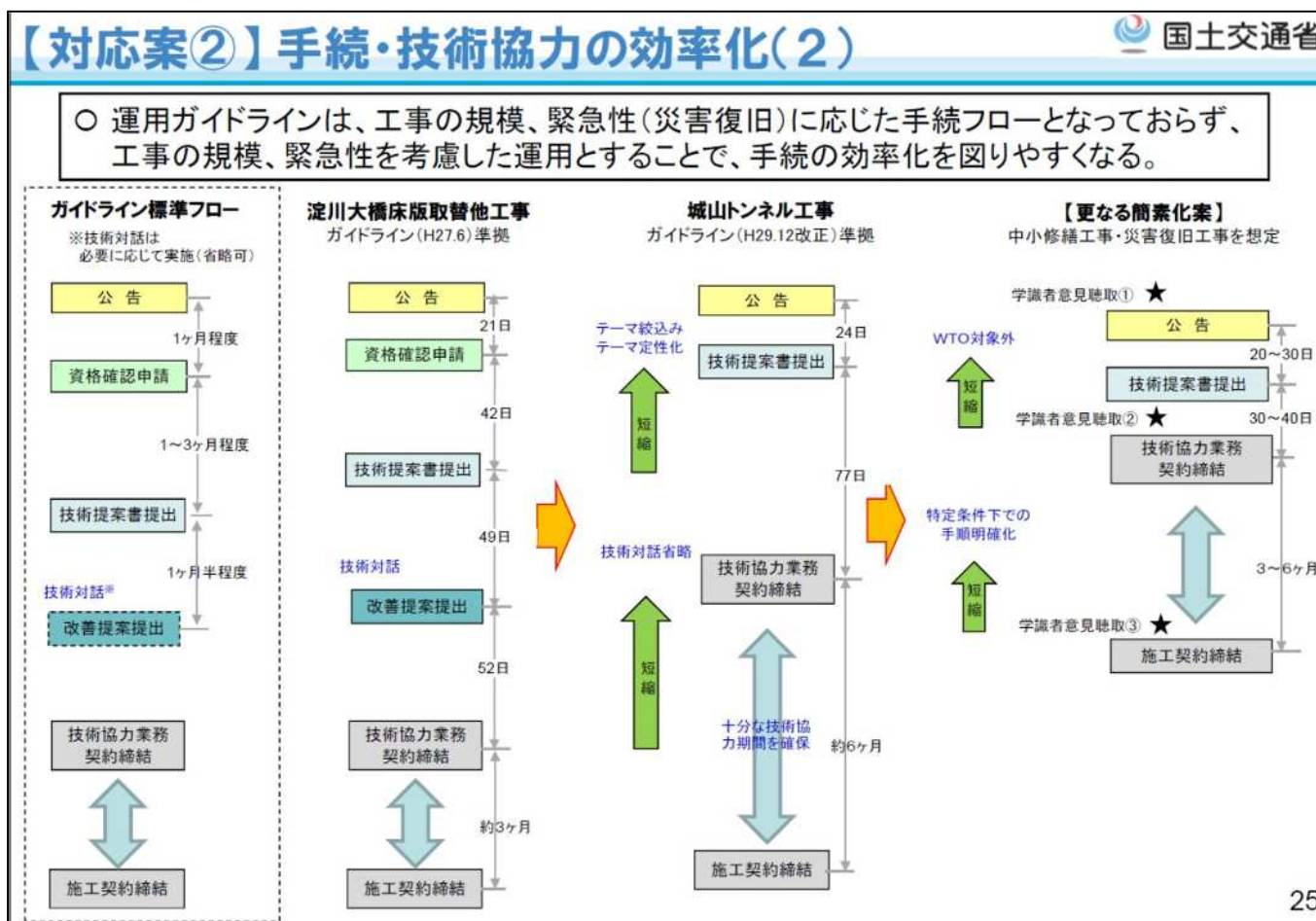
項目	内容
【A】 優先交渉権者の選定	技術提案（事業課題への理解度や提案能力や対応力）について、ヒアリングの結果も含め審査・評価し、技術評価の最も高い者を優先交渉権者として選定
【B】 技術協力業務の実施	優先交渉権者は、技術協力業務において、技術提案内容に基づく施工計画や工法必要な技術資料を提案（提出）する。提案は、発注者・設計者と適用協議を行い発注者を介して設計業務に反映する。
【C】 設計・価格等の協議	技術協力業務実施中に、設計者が行う設計の内容及び施工条件を基に、優先交渉権者から工事費見積書・見積条件書を適宜提出させ、発注者において評価及び協議を実施する。
【D】 価格等の交渉	設計業務の成果及び設計・価格等の協議を踏まえた設計図書（発注図・仕様書）に基づき優先交渉権者に見積依頼を行い、提出された見積を基に価格等の交渉を行う交渉結果を基に、妥当性が確認されたのち、契約制限価格を設定する。

※設計交渉・施工タイプの場合は、Bにおいて実施設計を実施

4. 技術提案・交渉方式の今後の適用

今後、リニューアル工事の進展に従って、仕様の確定が困難、施工条件が複数選択可能、詳細調査が必要等の工事が増えることから、橋梁補修工事などへの適用拡大を検討

適用拡大には、WTO基準額未満における手続き期間の短縮等も合わせて検討



その他の入札方式の紹介

あなたに、ベスト・ウェイ。



- 1. 高速道路リニューアルプロジェクトへの異工種工事の導入
 - 1 - 1. 異工種工事の導入目的 . . . 4 3
 - 1 - 2. 工事規制の削減イメージ . . . 4 4
 - 1 - 3. (参考) 異工種工事のイメージ . . . 4 5
- 2. 継続契約方式 . . . 4 7

1-1. 異工種工事の導入目的

■ 効率的な施工のために～お客さまへの影響を最小限に！

- ◆ リニューアルプロジェクト事業においては、対面通行規制や昼夜連続車線規制による『床版取替工事』や『トンネル補強工事』（インバート設置工事や覆工補強工事等）を全国で施工
- ◆ 対面通行規制や昼夜連続車線規制等は、施工箇所の前後の交通条件に応じて設定するため、工事の施工延長に比べ比較的長くなる傾向がある



- ◆ 対面通行規制や昼夜連続車線規制は、社会的影響も大きいいため事前広報を実施
- ◆ 各高速道路では、更新必要箇所が点在しており、効率的な施工方法の検討が必要
- ◆ 交通への影響を最小限とするため、一度の規制において複数の工事を実施することが重要



- ◆ 複数の異なる工事を、一つの工事として契約することで、下記の効果を期待
 - ✓ 同じ区間での繰り返しの対面通行規制や昼夜連続車線規制を削減
 - ✓ 受注者による効率的な工事管理や安全管理の実施
 - ✓ 契約事務手続きを省力化

1-2. 工事規制の削減イメージ

◆ 従来の計画

- 個別にリニューアル工事を発注
- 各年度で同じ区間で繰り返し工事規制が発生

■ Step 1



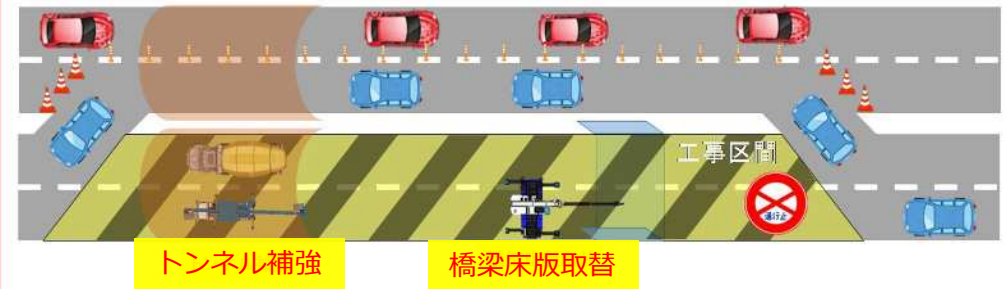
■ Step 2



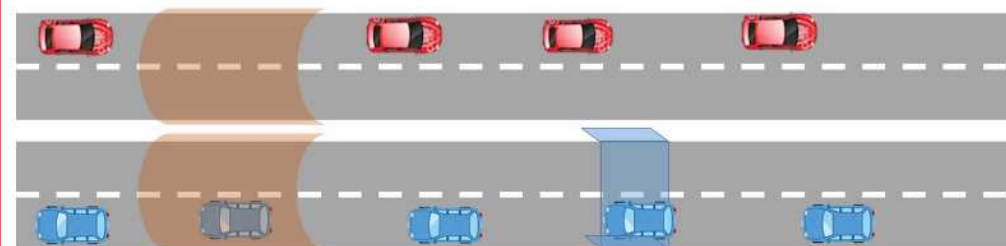
◆ 異工種工事による計画

- リニューアル工事を複数集約して発注（異工種工事）
- 一度の規制で効率的に工事実施

■ Step 1



■ なし

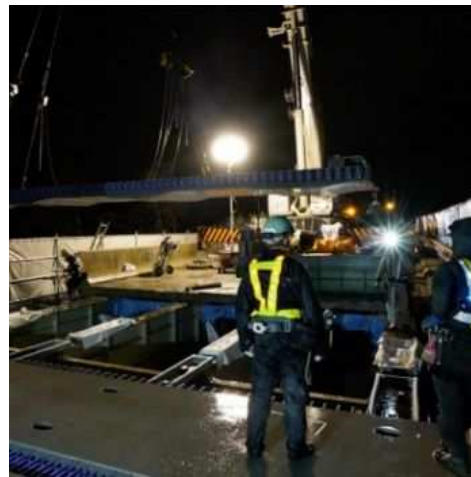


1-3. (参考) 異工種工事のイメージ

- ◆ 同時に施工する工事を『高速道路リニューアル工事』として1工事として契約
(通常は別々に発注するのに対し、「異工種工事」として契約)
- ◆ 複数の工種を実施できる企業の参加に加え、それぞれの工種を専門にする企業による共同企業体 (JV) の参加が可能

高速道路リニューアル工事の実施イメージ (工事の組合せ)

床版取替工事とトンネル補修工事



床版補強工事とのり面補強工事



床版取替工事とトンネル補強工事とのり面補強工事

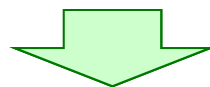


工事の組合せはイメージであり、実際の計画とは異なります。

※H30年8月に、東北自動車道 十和田管内高速道路リニューアル工事（床版取替とトンネル補強工事）を発注（契約締結済）

2. 継続契約方式 ～方式の概要～

- ◆ 特定更新等事業や耐震補強工事等については、一定の期間に同種の工事を集中して実施が必要
- ◆ 一方、調査・設計ストックの確保や、入札契約手続きなどの工事発注業務の集中に労力
- ◆ 類似工事について、工事発注に必要な調査や設計、協議等を円滑に実施するための方策が必要



- ◆ 発注準備が整った工事を「当初発注工事」とし、設計や調査の完了後に実施する工事を「後発工事」として契約する『継続契約方式』を制定
- ◆ 継続契約方式の導入により下記効果を期待
 - 当初発注工事におけるノウハウを後発工事に活用することによる安全面や品質面の向上
 - 調達手続きの効率化による受発注者双方の負担軽減や入札不調リスクの軽減

■ 継続契約方式によりNEXCO東日本の特定更新等事業での『中長期の工事発注の平準化』を目指す

【継続契約方式による工事イメージ】 ※後発工事は最大2件まで

	H〇〇年度	H〇〇年度	H〇〇年度	H〇〇年度	H〇〇年度
A工事 当初発注工事	[Purple bar spanning 5 years]				
B工事 後発工事①			[Purple bar spanning 3 years]		
C工事 後発工事②				[Purple bar spanning 2 years]	

Additional annotations in the diagram:
 - A vertical dashed box labeled "調達手続き" (Procurement process) covers the first year of the A-work bar.
 - Red arrows labeled "随意契約判断" (Discretionary contract judgment) point from the end of the A-work bar to the start of the B-work bar, and from the end of the B-work bar to the start of the C-work bar.

【継続契約方式の対象】

工事種別 (競争参加資格)	工事内容
土木工事	耐震補強工事、トンネル補強工事など
橋梁補修工事	床版取替工事など

- ✓ 後発工事との合計規模がWTO基準額※以上
- ✓ 当初発注工事の規模に関わらず、当初発注工事は一般競争入札方式（WTO適用）により発注

※契約制限価格（税込み）が22億9,000万円

2. 継続契約方式

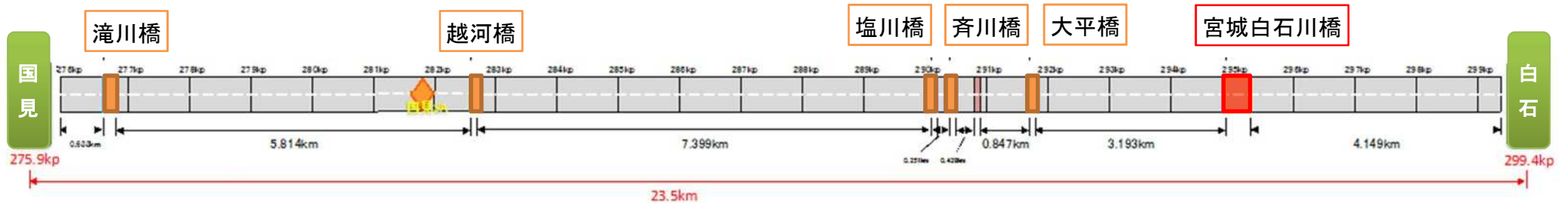
～継続契約方式の初弾工事として、東北道、福島管内の床版取替工事を調達手続き中～

NEXCO

工事名	東北自動車道 宮城白石川橋床版取替工事
工事箇所	東北自動車道 国見IC～白石IC間
入札公告日	平成31年2月15日
本工事の概要	床版取替 約 5.5km ² (宮城白石川橋)



✓ 後発工事は、国見IC～白石IC間の下記橋梁の床版取替工事を予定



【後発工事の随意契約判断について】 ※入札公告（説明書）記載例

- 後発工事の随意契約については、本工事及び既に契約締結済の後発工事に関する成績評定の結果を踏まえ、本工事の受注者と随意契約を実施すると判断した場合に、本工事の受注者に対し、随意契約の締結意思確認及び技術提案書の提出を求める。
- 随意契約の締結意思がある旨の回答があった場合は、提出のあった技術提案書の内容の審査を行ったうえで、本工事の受注者に対して後発工事に係る見積書の提出を求め、見積合わせを行い、契約を締結するものとする。



(宮城白石川橋)